

甲斐たかゆきの議会だより「えがお」号外・2024年1/31発行



ごあいさつが遅くなりましたが・・・本年もよろしくお願ひいたします

市議会議員となり7回目の新年を迎えました(議員8年目)。本年も引き続きみなさまの声をお聞かせください。よろしくお願ひ致します。今後も、**みなさまの「笑顔」につながる活動**となるように努力していきます。そのためにも、**さまざまな現場や地域の声**を聞き、要望や課題を把握し、現状の改善はもちろんのこと、**未来を見据えた提案**などにつなげていきます。これからも一歩ずつとはなりますが、みなさんと歩んでいきます。

元旦の夕方に発生した**能登半島地震**、そして翌日に**羽田空港事故**。また何か起こってしまうのではないかと心がざわついた年明けだったのではないのでしょうか。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。今もなお、さまざまな状況下で避難生活をおくられている方々が数多くいらっしゃいます。厳しい寒さが続く中、避難生活の環境悪化が深刻になりつつあるとの報道もなされています。災害関連死を防ぐために、医療・福祉をはじめ現地での支援をさらに加速させる必要があります。しかしながら現在、個人レベルでは直接の支援ができていく状況にあります。そのため、少しでも今後の支援につながればとの思いで、私の所属する立憲民主党でも各地で**「被災者支援の募金活動」**を行っています。大分駅前などで数回に分け活動し、多くの方のご協力をいただいています。改めて感謝申し上げます。2月も継続して募金活動を行います。

上記のことも含めて、改めて**「平和な日常」**を過ごせることの大切さを感じる日々ともなりました。報道が少なくなりましたが、**ロシアによるウクライナへの侵略**がいまだに続いています。**イスラエルによるパレスチナへの「ジェノサイド」**も続いています。**戦争は最大の人権侵害です**。日本周辺も含めて世界中で「日常」を揺るがしかねない事態が懸念されています。しかし、**どんな理由を語ろうとも決して「武力を行使する」ことは許されることではありません**。また昨年来、このような世界情勢に乗じて不安を煽り、「敵基地攻撃能力の保有」を正当化しようとする動きも加速しています。**「大分敷戸弾薬庫問題」**もここに連動しています(詳細は裏面に)。「戦争につながる」おそれのあることに備えるのではなく、今こそ、**「生活の安心安全につながる」**ように、防災減災対策や自然災害に備え避難所運営等に集中して取り組む**「防災省」**の本格的な検討が急務です。**イタリアのような国主導の災害専門機関**が設置され、事前に準備しておくことが必要です。国際的なスタンダードである**「スフィア基準」**を**避難所運営の基本**として、もっと重視すべきです(この基準については、私も以前の一般質問でも取り上げています)。

まずは、**大分市の現状を改めて検証し、計画的な準備&継続的な対策につなげていきます!**

私自身、これからも**「子どもたちをまんやかに」**おいてさまざまなことを訴え続けます。未来ある子どもたちに**平和な世界**をつないでいけるように、安心安全で**笑顔あふれる日々**となるように、取り組んでいきます。今後とも**みなさんのさまざまな思いや声をお寄せ下さい**。

NO WAR 世界中の人々に平和な日常を!

甲斐たかゆき・連絡先 (判田台南在住)

090-4991-6412

FAX 番号は 097-597-6889

ご意見・ご要望等はこちらまで。

☆「大分敷戸ミサイル弾薬庫問題」☆ 2棟さらに7棟？際限なき増強？危険も増加！！

緊急抗議声明

弾薬庫9棟建設計画に強く抗議し、その中止を求めます

大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会

- さらに7棟、計9棟の大型弾薬庫建設計画に強く抗議し、国会での徹底審議と計画の中止を求めます
 - さらに7棟？9棟もつも？ 報道等によれば、防衛省は、12月22日、本年度の概算予算の一部として、住吉町敷戸分屯地（敷戸）弾薬庫に大型弾薬庫を更に7棟増設する計画を明らかにしました。実は、11月2日の九州防衛局長による地元住民説明会の内容は、これほどまで強硬なものであります。そのことをめぐりにももたされた九州防衛局長の発言は、住民を侮辱するものであります。また、住民の健康被害の可能性についても十分な説明がなされていません。計画の中止を強く求めます。
- 政府は自国民保護の義務を守れ 住宅地への弾薬庫建設は国際人道法違反です
 - 住宅密集地に 弾薬庫建設は許さず！ 住宅密集地に弾薬庫建設は、人命の犠牲を招く恐れがあります。弾薬庫の建設は、ミサイルや宇宙兵器の配備に伴って、住宅地や学校、病院、商店などを巻き込んでしまう危険があります。このようなことを許さず、周辺だけでなく、日本が国際法に違反することになります。



この弾薬庫新設に関することは、まさに「戦争につながる」おそれのあることです。いえ、戦争に直結しています。有事の際には弾薬庫が攻撃の標的となることは、昨今の情勢からも明らかです。ミサイル等を弾薬庫から移動させないように周辺の道路等を攻撃の対象とすることも容易に予想されます。今、まさに生活している大分分屯地(敷戸弾薬庫)周辺の**住宅密集地域が危険にさらされようとしている**わけです。私も隣接する判田校区に住んでいます。**この地を安心安全なまま、子どもたちにつなげていきたい・・・**そんな思いで、私もこの「市民の会」の幹事の一員として活動しています。画像でのお知らせで、チラシの内容が見えにくいと思いますが、紙面の都合上、お許し下さい。ご連絡いただければチラシや署名用紙をお届けします。合わせて会員も大募集中！ご賛同の方は、甲斐まで連絡を。

☆学校現場で働く仲間たちの声を聞く☆

市議会議員となって8年目ですが、元小学校教員として、**私の活動の基盤は、やはり「教育」です。**学校で生活する**子どもたちの笑顔**です。そして、その子どもたちを日々支え励ましともに歩んでいる**学校現場で働く仲間みなさんの笑顔**(働きがいや暮らし、健康や命)です。昨年より同じ教職員出身の御手洗朋宏県議会議員、安東房吉大分市議会議員と分担をして、学校現場の現状と課題等、「今の生の声」を対面で直接聞くことができる場を設けています。教育現場の人員不足、多岐にわたる教育課題への対応など、多忙化を拡大させているさまざまな要因についてはもちろんのこと、日頃感じている子どもたちの困り、働き方への不安、教育環境改善への具体的な要望など、間近で意見を交換することができます。また、市政や県政(国政)の現状やこれからの見通しなどを説明することもでき、「**議会と教室はつながっている**」を少しでも実感していただけたのではないかと感じています。すぐに対応できることから、時間を要することまで、その内容はさまざまですが、いただいた声を活かすために、三名で連帯し、ねばり強く意見要望、そして提案をしていきます。今後も関係者のみなさんと連携して、今回の取り組みを継続していきたいです。



☆判田中学校の体育館及び武道場長寿命化改修工事☆ 2月から使用可能に！



昨年から行っていた改修工事が完了。外壁改修、屋根塗装、床の研磨とコーティング、トイレ更新(バリアフリートイレ、シャワー設備、床の乾式化等)、放送機器の更新、武道場の照明 LED 化(体育館は R2 に実施済)。大いに活用して下さい。「えがお 28 号」に記載したように、今後数年間で、大分市立小中学校の**体育館にも空調設備が設置**されます。